

東西駅前広場の整備

1 現状と課題

池袋東西の駅前広場は、池袋副都心を訪れる来街者が必ず利用する公共空間であり、地下一階レベルにあるコンコースから地上に出て最初に目にする景観として、強く池袋を印象づけている。駅前広場とその周辺は、池袋副都心全体のイメージを決定づける池袋の顔である。

東西の駅前広場の経緯を簡単に整理してみると、昭和 23 年 9 月戦災復興土地地区画整理事業により広場が計画され、東口は昭和 35 年 10 月、西口は昭和 43 年 7 月それぞれ換地処分され整備完了した。

その後、形態の大幅な改良は行われていないが、西口については、昭和 62 年、地元の要望で、歩道、植栽など修景的な整備が行われ、すでに 16 年が経過し改修時期が到来している。

2 各プランで示された駅前広場の現状・施策方針

東西の駅前広場については、それぞれのプランにおいて重要な位置にあり、現状について多方面から分析された内容について、以下の通り整理した。

2 - 1 プラン A LRT 導入とグリーン大通りの整備

- ・ グリーン大通り上に起点電停を想定したが、鉄道利用者の乗り継ぎ利便性向上には駅前広場への乗り入れが望ましく、今後、駅前広場改良や池袋駅前周辺の街づくり等を検討する際に合わせて検討する必要がある。

2 - 2 プラン B 歩行者・自ネットワークの整備

- ・ 駅前広場及び主要道路の歩行空間が狭く、障害者・高齢者など交通弱者にとって安心して通行することが困難となっている。
- ・ 池袋駅には地下通路が多くあるがわかりづらく、出入り口部はバリアフリー化が不足している。また、放置自転車・看板等で歩きづらい。
- ・ 池袋駅を中心として多様な人々が多様な目的で来街しており、安心・安全な往来が求められている。

2 - 3 プランD 安心・安全副都心の創出

- ・ 駅前及び周辺が「こわい・きたない・快適でない」といったイメージがあり、改善が求められている。

2 - 4 プランE 東西連絡施設の整備

- ・ 駅中央部上空デッキ構想の実施にあたっては、西武百貨店と東武百貨店に貫通通路を整備するとともに、駅前広場を横断するデッキを整備し街への動線を確保する必要がある。
- ・ 東西デッキの実現は、整備によるメリットを明確にし、区のみならず鉄道事業者等土地所有者、地元の参画による共同事業として推進することにより可能となる。

2 - 5 プランF 計画的な建替え誘導の推進

- ・ 駅前広場に面する民間敷地は十分な土地利用が進んでおらず、また、無計画な看板広告物等により駅周辺からの景観を雑然とさせている。
- ・ 駅周辺の整備目標を「駅周辺・にぎやかエリア」に設定し、地区計画制度等の活用により、適切な建替えを誘導する。

2 - 6 プランG 再開発の推進

- ・ 東西駅前には広場や歩道が十分でなく、老朽化した建物も多く、駅前として敷地が細分化され過ぎている。
- ・ 今後、細街路の付替え等の街路整備を行い、共同化による開発を進め、駅前の顔となる建物の整備を誘導するとともに、細街路の付替えや開発諸制度の活用により広場や歩道等のオープンスペースを生み出し、駅前広場の整備を図る。

2 - 7 プランM 魅力・にぎわい創出事業の展開

- ・ 副都心池袋のイメージ刷新を目標に、美しい街・清潔な街の創出、都市情報の発信としてビクターセンターの整備、駅構内、駅周辺に統一的案内表示（サイン計画）を検討する。

3 施策の方向

池袋駅前の広場空間については、池袋東西連絡施設の整備やLRT導入とグリーン大通りの整備との一体性により、安全性・快適性の向上はもとより池袋副都心の顔としてのイメージアップを図ることが大切となる。また、こうした視点から、それぞれのプランにおいて様々な提案がなされ、本格的な整備が待たれるところである。

しかし、その一方で、歩道舗装や植栽など修景施設の老朽化は顕著であり、本格整備を待つ間の暫定的な整備も望まれている。

したがって、プランCでは駅前広場としてのあるべき姿を捉えつつ、短期的な対応に絞った整備方針を整理することとする。

3 - 1 短期的な課題

駅施設と駅前広場をつなぐ急階段などのバリアーが数多く存在する。また、都、JR、区など所有者の混在が管理を難しくしている。

また、東口では、とりわけ明治通りによる駅施設と街並みの分断が指摘されている。西口では、老朽化が目立つ駅前広場施設、客待ちタクシー問題が街のイメージを大きく損ねており、街本来が持つ文化・賑わい資源との整合を欠く状況にある。

3 - 2 東口駅前広場の短期的な施策の方向

明治通りなど幹線道路の渋滞対策として東京都が進めているスムーズ東京21事業で、池袋駅東口タクシープールを整備する。また、グリーン大通りで実施したシンボルロード事業において駅前広場整備が未整備となっており、タクシープール整備に続いて実施していく。（タクシープール計画図参照）

3 - 3 西口駅前広場の短期的な施策の方向

西口駅前広場については、歩道舗装や街路灯の老朽化、放置自転車・段差等のバリアーの解消、植栽のリニューアルなどが望まれており、こうした課題を解決するための整備を行うこととする。（池袋西口の主な課題整理参照）

また、整備コンセプトの設定に当たっては、東京芸術劇場、池袋西口公園の野外ステージ、立教学院といった文化教育資源、商店街の繁華性、ふくろ祭りの賑わい性など、池袋西口ならではの有利性・特徴が感じられるイメージづくりも検討していく必要がある。

さらに、客待ちタクシーについては、今後も交通管理者との連携によりタクシー運転者のマナー啓発等に努めるものとする。

東池袋駅前タクシープール計画



西口駅前広場の主な課題整理

